

人間市納税貯蓄組合長賞

地球を守る税とは

金子中学校 三年 石原 幸平

最近、道端や川辺などにたくさんゴミが捨てられているのをよく見かける。ゴミが落ちていても通りかかる人たちは見向きもしない。自分も同じだった。誰が捨てたかもわからないゴミを拾うことに軽蔑意識を持っていた。しかし最近ニュースでもインターネットでも話題になっている地球温暖化について気にし始めるとゴミを分別して捨てることや地域のゴミ回収にも参加するようになった。

そして気になったことがあった、回収されたゴミの処理にはどのぐらいの費用、税金が使われているのかと。調べてみると令和3年度のデータだと約2兆1499億円という衝撃の結果だった。国民一人でも年間でもとても大きい負担になっていることがわかった。なぜそこまでゴミが多く排出されるのか、過剰包装、使い捨ての商品の増加、生活雑貨などの安価なものを大切に扱っていない、食品ロスなどが主な原因と考えられる。ゴミが増えることで起こる問題も多数ある。費用、税金の増加、地球環境の悪化、埋立地の不足などがすでに問題として挙がっている。その問題を解決するために自分ができることは二つあります。一つ目は、本当に必要なものだけを購入することです。食品などを一気に買って消費期限が切れて捨ててしまうようなことがあれば食品ロスの原因になるので気をつけたいです。二つ目は、ゴミの分別を徹底したり使い捨てのものをなる

べく使わないことです。使い捨てのものを使うと長く使えるものよりもゴミが出る量が増えるので日常でも気にしながら生活したいです。三つ目は、フリマサイトなど活用することです。自分にとって不要でも、誰かにとっては必要なものかもしれないし環境にもいいので活用したいです。他にも3Rなどを取り組めば環境保全にも役に立つはずです。

これらを積極的に取り組むことで、人々の生活が豊かになるし、何よりゴミの処理にかかる税金を軽くでき、その浮いた税金を別の目的へ使うことができるんです。税金には今紹介したゴミの処理だけでなく人々のあらゆるところで使われています。小学校や中学校の教材、タブレットは税金によって買われているし、医療や介護、警察の活動、災害への復興、科学技術への取り組みも全て税金によるものです。これらができなくなれば私たちの生活は不憫で、苦しいものとなってしまいます。だからこのような税金のきまりをしっかりと守り、私たち一人一人が協力していくことがよりよい社会への道筋だと思う。これからはもっと税金に対しての関心を深めていくことが大切だと感じました。